

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月04日

計画の名称	清瀬市公共下水道整備計画（第2期）													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	清瀬市													
計画の目標	下水道施設の長寿命化対策を行い、市民が安心して快適な暮らしができる良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		220	A	220	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	管渠の目標耐用年数を延長する。 管渠の目標耐用年数の延長率 目標耐用年数を延長した管渠/目標耐用年数を延長すべき管渠（調査延長86.3km×15%）	2%	2%	7%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H28-29に本計画にて浸水対策事業実施【柳瀬川右岸第8-1排水区浸水対策事業 全体事業費509百万円 整備実績27ha】。浸水対策事業については、清瀬市公共下水道整備計画（第3期）（重点計画）へ遷移。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	清瀬市	直接	清瀬市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント事業	点検・調査・計画策定・設計・工事	清瀬市						220		策定済	
		ストックマネジメント計画																		
											小計						220			
											合計						220			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者および第三者を含む清瀬市都市計画審議会にて実施。	令和3年12月
	公表の方法
	市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	清瀬市下水道ストックマネジメント計画における点検及び調査を実施し、効率的な長寿命化対策を実施する準備が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
長寿命化対策について、令和2年度に「清瀬市下水道ストックマネジメント計画（その2）」を策定し、令和4年度からは、計画に則り管渠の長寿命化対策を順次実施する。	

